

施策番号	334	施策名	生涯スポーツの推進	令和4年度主管課名	生涯学習課
総合計画 体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和4年度課長名	小原 克則
	関係課名	健康推進課		シート作成者	日下 隆春

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	町民	→	ア	人口	人	見込値		11,800	11,627	11,280	
						実績値	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ			見込値					
						実績値					
ウ		→	ウ			見込値					
						実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	日頃からスポーツに取り組んでもらう	→	ア	何らかの運動、スポーツを行っている町民の割合	%	目標値	60	51	52.5	53	56
						実績値	60.3	59.6	60.2		
						達成率	100.5%	116.9%	114.7%	113.6%	107.5%
イ		→	イ	週一回以上運動・スポーツを行っている町民の割合	%	目標値	50.0	46.4	48.2	50.0	53.6
						実績値	47.0	45.5	44.0		
						達成率	94.0%	98.1%	91.3%	88.0%	82.1%
ウ		→	ウ			目標値					
						実績値					
						達成率					
エ		→	エ			目標値					
						実績値					
						達成率					
⑤ 成果指標 設定の考え方	日頃からスポーツに取り組んでもらうことが施策の意図であるため、取り組んでいる町民数の割合を指標として設定。				⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	町民アンケート					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民はスポーツに関心を持ち積極的に参加しよう努める。</li> <li>地域は、地域の連帯感と親睦・融和を図るため、地域住民を挙げてスポーツ活動に参加していく。</li> <li>スポーツ団体は、会員の拡充を行い、スポーツ施設の管理への協力やスポーツに取り組む機会の増加、また運営・指導のできる体制づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民が楽しくスポーツを行うための施設の整備や維持管理を行う。</li> <li>誰もが参加しやすい内容や種目の検討を行い、機会を提供していく。</li> <li>団体及び指導者の育成と、団体が行うスポーツ普及活動を支援する。</li> </ul>

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
4年度 の 評価結果	<p>① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)</p> <p>町民アンケートの結果を見ると、何らかの運動、スポーツを行っている町民の割合は、60.2%で、前年より微増に目標値を達成した。コロナ禍で日常生活に制限のある中、また、新しい生活様式の中でも、日頃から運動や健康に関心を持ち、運動に取り組む意識は持続していると考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る</p>
	<p>② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)</p> <p>何らかのスポーツを行っている人の割合はほぼ変わらないが、週一回以上スポーツを行っている人の割合は、令和2年度以降徐々に低下している。コロナによる規制で、団体競技等の大会等の中止などの影響があったことがうかがわれる。コロナ禍により、大会の参加や競技を目的としたスポーツではなく、個人の健康増進を目的とした活動が増えたことが予想される。</p> <p><input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した</p>
	<p>③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)</p> <p>スポーツ庁の令和4年度世論調査では、「20歳以上の週1日以上運動・スポーツをしている」率は52.3%であり、鏡野町は国の指標と比較すると8.3ポイント低い結果となっている。コロナ禍の影響によるスポーツ施設の休館や地域活動の自粛が、鏡野町においてはより大きく影響したと考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 高い水準 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input checked="" type="checkbox"/> 低い水準</p>
<p>2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など</p> <p>指導者や活動団体の構成員が高齢化している。各公民館や各学校及びPTA活動などの小規模単位の指導依頼が増加している。国が部活動の地域移行を進めている。</p>	
<p>3. 施策の振り返りと総括(4年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)</p> <p>① 施策の成果向上につながった主な事務事業 鏡野町多目的公園整備事業費</p> <p>② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業 かがみのマラソン大会事業</p> <p>③ 施策全体の振り返りと総括</p> <p>・令和3年度から、幅広い年齢層を対象とした多目的に利用できる広場や複合遊具、健康遊具を兼ね備えた公園の整備を行っており、令和4年度は一部を仮オープンした。 ・かがみのマラソン&amp;ウォーキング大会を開催した。今大会からウォーキング部門を設置し、普段運動をすることが少ない人達への参加機会の提供ができた。 ・スポーツ推進委員等との連携により可能な範囲での運動機会の提供や、各種情報提供、公民館活動等との連携を行った。</p>	
<p>4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)</p> <p>① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業 かがみのマラソン大会事業</p> <p>② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向</p> <p>・マラソン大会については、従来の健康作りの視点を変え、町内外の幅広い世代が参加できるイベント的な大会へと改善する。昨年同様奥津湖畔を利用しマラソンとウォーキング部門にを計画し、マラソンはハーフ部門を追加する。昨今の物価高騰に伴い、参加料の見直し等も検討する。 ・老朽化した奥津町民体育館を大規模改修し、利用者の増加を図る。</p>	